

質問概要（質問内容と回答の詳細は次ページ以降をご覧ください。）

- 1 近鉄けいはんな線延伸計画との関係について
- 2 車の乗り入れを前提とした舗装が良いのではないか
- 3 自転車通行ルールなど交通政策とも合わせた整備が必要ではないか
- 4 すずらん館前広場で週1回集まってやっているラジオ体操について工事期間中は代わりの場所を調整して欲しい
- 5 赤道の凸凹が酷いが今回計画には入っていないか
- 6 駅前広場は人が集中して集まり、歩道がいっぱいになる時間もある。歩道幅は現況よりは狭くならないか
- 7 駅前広場の自転車通行の規制は複雑であり、自転車通行ルールも含めて対応が必要ではないか
- 8 交番周辺の木の伐採について
- 9 赤道の自転車通行は今後地域住民同士が互いの状況を鑑みて議論していく必要性がある
- 10 赤道の凸凹の状況を実際に見てほしい
- 11 現場事務所等の場所について
- 12 工事監理について
- 13 工事工程や安全対策の周知について
- 14 原付2種の駐輪場の整備について
- 15 現在完成イメージから変わる可能性について
- 16 高の原駅を利用する学校・学生や企業、送迎バスを運行する学校や企業への情報共有について
- 17 今後の高の原以外の整備計画が出た場合の市民等関係者から幅広く意見聴取をすることの要望

質疑応答詳細

1 将来、学研登美ヶ丘駅から高の原駅まで延伸される予定の路線があると思うが、実際そうなった場合の駅前広場がどのように利用されるのか。

けいはんな線延伸については将来的に検討されている段階であるため本計画には盛り込んでいない。

2 イオン前広場について、車の乗り入れることを前提とした舗装で整備するのが良いと思う。

舗装整備も計画に入っており、地域の色々な方がイベントをしていただくのに車両の乗り入れも想定しているので、車の乗り入れ対応した舗装材での施工を計画している。

3 駅前広場は、自転車は降りて通行することが必要だが、実際にはそうしている人はなかなかいない。啓発活動をしている時は乗ったまま通行する人に注意するが、降りるルールであることを知らない人も多く戸惑われる。そういったことを踏まえ、交通政策などとも合わせて総合的に整備をお願いしたい。

駅前広場から周辺住宅地を繋ぐ赤道は歩行者専用道路であり、奈良市内では自転車に乗ったままでの通行はできないこととなっているが、高の原エリアでみると自転車に乗ったままでも通行できるところとできないところがあり、高の原の課題の一つではないかと思っている。駅前広場の整備だけでは解決できないことなので、引き続き地域の方々と共に検討していきたい。

4 すずらん館前広場で 20 人くらいでラジオ体操をしているが、工事中は代わりの場所でできるように調整したい。

工事エリアを全部閉め切ってやるわけではなく、歩行者動線等は確保しながらやっていく。地域の皆さんの活動は継続していただくためにスペースは確保していきたい。必要面積など教えていただき、今後も連絡を取り合いながら調整させていただく。

5 現在すずらん館前からの赤道について、歩道橋階段など水溜りができたり割れたり、段差ができておりつまずいてこける方がいる。赤道部分は今回の工事は全く入らないという理解で良いか。また、今後このすずらん館前から西向き赤道について、何かしら工事計画があるかどうかを教えて欲しい。

駅前広場の整備工事であり、赤道は計画には入っていない。ただ、高の原にお住まいの方にとって赤道は非常に重要な場所であることは認識しているので、ご質問の件は担当部署とも連携を取り情報共有をさせていただきます。

6 毎月 7 日と 27 日、交番連絡協議会で地域教育協議会、交安連絡協議会と一緒にシンボルツリー周辺で高の原の地域住民の安心安全・住みよいまちづくりのために挨拶・声掛け運動をしている。

高の原駅は乗降客数 3 万人程度だが、朝 7 時半から 8 時半ぐらいの間で 6 割ぐらいが集中している印象である。東大寺学園、奈良学園、南陽高校、奈良高校と学生が非常に多く、8 時前後は相当の人数の学生さんが集中する場所もある。第 1 自転車駐車がなくなった影響もあつてか、自転車も歩道上を通行してくることもある。歩道幅は現況よりは狭くはないか？

再整備では皆さんが歩きやすい駅前広場を目指している。歩行幅員も十分な幅で計画しており現況より幅が狭くなることはないと考えている。今のお話も参考にさせていただく。

シンボルツリー周辺での声掛け活動については、シンボルツリー周辺を施工する際には少し場所を移動いただくなど調整はさせていただくが、活動は継続いただけるようにしたいと思っている。

施工中は、歩道幅員が狭くなる、片側交互通行をお願いすることになるが、なるべく歩道幅を広くしたり、分かりやすい動線看板を立てたり、皆さんになるべく負担をかけないように工夫や対応をするのでご理解いただきたい。

7 駅前広場の自転車通行の規制はとても複雑でわかりにくく、木津川市側・精華町側からの赤道から来ると自転車通行の啓発看板や規制看板はなく、駅前広場に来て降りてくれと言われると気を悪くする方もいる。自転車通行ルールも含めて対応が必要だと思う。

整備をして終わりではなく、整備後皆さんが使いやすいという観点は重視したい。自転車の通行ルールも含まれると思うので、この駅前広場の使い方やルールも今後検討したい。

8 交番周辺の木について、少し間引いて綺麗にしようという話があつたが、どの位の範囲で伐採するのか等もう少しイメージを共有して欲しい。

整備の方針としては、今ある良さを生かしながらこれからのニーズに合う駅前広場を目指している。樹木についても生かせるところは生かしたい。昨年春頃に樹木医の専門的な知見とプロジェクトチームメンバーとの想いを踏まえて駅前広場の木のうち、残せる木、難しい木を判断した上での計画としている。

9 赤道の自転車通行について、赤道は自転車と歩行者が使える歩行者専用道路として作られた。その後道路構造令が改正され、自転車歩行者道という名前がそのまま残った。高の原エリアの場所によって自転車に乗ったまま通行できるエリアもあればそうでないところもある。これは今回の整備内容ではなく、地域に住む者同士がお互いに安全に過ごせるか、問題なく過ごせるかをじっくり話していく必要があると思う。

赤道での自転車通行については、これから地域の方と一緒に、駅前広場とその周辺をどう使っていくかということのルール作りをしていきたいと思っている。

1 0 赤道の歩道橋の凸凹でつまづくことについて、現状を知ってもらうため、工事関係者にも雨の降った後に歩いて点検して欲しい。

雨の後の状況も見せてもらい担当課へ情報共有したい。

1 1 現場事務所の場所や工事車両が大量になると思うがどこに停めるのか。

現場事務所は駅前の商業施設を管理運営する関西文化学術研究都市センター株式会社に協力いただき現場の近くに事務所を設ける予定。

工事作業員の熱中症対策等のための工事作業員の詰所も必ず必要。現時点ではもと第 1 自転車駐車場跡地に駐車場とともに設ける予定。詰所だと分かるようなフェンス囲いもする。

1 2 工事監理は建設部門のほかに設計事務所は入るのか。

工事監理は奈良市職員のサポート、工事事業者との連携を役割として工事監理監督を委託契約している。

1 3 高の原駅や周辺は、地域住民以外にも学生等地域外の人も多く利用する場所であり、大規模な工事で工期も長いため、ホームページなどでも周知が必要だと思う。よその工事では、工事事業者が独自ホームページを作り工事進捗を報告したりしている。地域住民としては工事工程や安全対策を早く知りたい。

現地にデジタルサイネージ（大きな電光掲示板）を設置し、進捗状況やバス乗り場の一時的な変更、通行動線の一時的な変更などを明示しようと考えている。工事進捗に合わせ、明示方法については地域住民の皆さんからも改善案など聞かせてもらいたい。

1 4 原付 2 種（125cc クラス）の駐輪場について、第 1 自転車駐車場が閉鎖になり、周辺にもない第 4 自転車駐車場にもあるが、69 台分あるがそのうち 22 台は壊れているので、停められないことが結構ある。

法改正に合わせてスペース寸法を修正するなどされていない、停めたいのに停められないなどの現状を知った上で整備をして欲しい。

もし作れるのであれば、第 4 自転車駐車場のバイク駐輪場を直す、又はもと第 1 自転車駐車場跡地の半分でも良い、豪華な建物でなくバラックや雨掛かりでも良いので作って欲しい。

駅前広場の整備は駐輪場を管理する部署とも連携しながら進めている。担当課からも修理したいが部品がなく修理できないという現状は聞いている。駅前広場整備に伴って駐輪場をどうするかについても担当課で検討しているので、この情報もしっかり担当課へ伝える。地域の皆さんの利便性が下がらないためにどうしていいかは、担当課と調整していきたい。

15 駅前広場の完成イメージについて、このイメージよりもっと詳細なものはあるか。交番の移設についても聞いているが、奈良県警とどう共有しているのか。第1自転車駐車場跡地もどうなるか詰め切れていない印象もある。イメージが変わる可能性もある等の補足をして欲しい。

交番移設については、奈良県警と協議しており、概ね整ってきている。現在の一般車ロータリー付近が交番移設予定地である。変更可能性はあるが県警と話は進めている。

他のところも概ねこのイメージ通りに施工する予定。舗装の色味や模様は変わってくる可能性はある。

駅前広場の中にもいろいろな施設があるが、全部行政で整備するのではなく民間事業者とも協力しながら進めるのでそれによりイメージと変わる可能性はある。

16 地域住民だけでなく、高の原駅を利用している学校・学生や企業、送迎バスを運行している学校や企業への情報共有をしっかりと欲しい。

高の原駅を利用している方々に情報が伝わるように努力していく。バスを利用されている方々については奈良交通とも連携しながら進めていきたい。

17 今回の計画は、地区自治連合会長や地域事業者など主要なメンバーの意見を聞きながら作っているが、こういった説明会などの機会で見聞と基本的なニーズがくみ取れていなかったということも出てくる。今後似たような案件で再整備を進めていく場合には、幅広い方々に集まってもらい、意見をもらうのが良いと思うので要望しておく。

高の原の方々は思いを持っていただいでいて、皆さんの思いを踏まえて行政と地域の方々や事業者の皆さん、行政とが市町を越えて連携してやっていきたいので、引き続き情報共有をしていきたい。